

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金／毎年2月20日 中間配当金／毎年8月20日
公告方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 電子公告により行ないます。 http://www.palemo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

以前は、旧株式会社鈴丹の株主様の特別口座に関するご照会先は、三菱UFJ
信託銀行株式会社でしたが、三井住友信託銀行株式会社に変わりました。

株主名簿管理人 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 ☎ 0120-782-031

株主優待

株主の皆様方のご支援に対する感謝の印といたしまして、毎年2月20日現在の株主名簿に記載された300株以上保有の株主の皆様方に対し、下記のとおり株主様ご優待品を進呈いたしております。



300株以上	1,000株未満	1,000円のクオカード
1,000株以上		3,000円相当のカタログギフト

愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録



登録年月日 平成 20 年 2 月 15 日
登録番号 C 0 0 2 4

仕事と生活の調和のとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組む
愛知県ファミリー・フレンドリー企業として登録いたしました。

上場株式等の配当等に係る10%（所得税7%、住民税3%） 軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率（所得
税7%、住民税3%）は廃止され、本来の税率である20%（所得
税15%、住民税5%）となりました。
これにより、2014年1月1日から2037年12月31日までは「復興特別
所得税」を含め20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続
ができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご
連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されて
いなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託
銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載
し、税務署へ提出いたします。
[主な支払調書]
*配当金に関する支払調書
*単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。
株主様は、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けください。

～Doing it～

皆様の豊かさ・成長・満足の実現のために



代表取締役社長 吉田 馨

指 針

正しい経営

安定成長

ローコスト経営

人財経営

次代を見据えた収益基盤の構築

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループ第35期報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

この第35期におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が継続するも、米中間での貿易摩擦が長期化するほか、インバウンド需要の低下、消費税増税の影響などもあり、景気に対する先行きは不透明な状況で推移しました。また、年明け以降、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に及ぼす懸念も徐々に高まりを見せており、今後留意が必要な状況となっております。

当社グループが属する専門店業界におきましては、業界全体で慢性的な人手不足による人件費高騰が続くほか、少子高齢化、人口減少社会を背景に国内市場の縮小が継続しており、引き続き厳しい事業環境で推移しました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、今後のグループ全体の成長を実現すべく、アパレル事業におきましてはトレンド商品への取り組み強化、気温や気候の変動に応じた機動的な商品供給を進めるなどし、基幹事業の競争力向上に努めるほか、ネット通販の分野におきましても、新規通販サイトへの販路拡大や自社サイトでの販売強化にも取り組んでまいりました。また、雑貨事業におきましては、300円均一ショップ「illusie300(イルーシーサンマルマル)」の新規出店を加速し、新たな基幹事業へと育て上げることに注力してまいりました。

第35期におきましては、天候不順や災害に加え、消費税増税の影響を受ける中、売上高におきましてはアパレルでの新規ブランドや「illusie300」での出店拡大が貢献し、前年を上回る水準となりました。しかしながら店舗数増加に伴う営業経費の増加、既存店舗の減収による収益性の低下により、営業利益、経常利益については前期実績を下回る結果となりました。

「中期経営計画」の最終年度である第36期におきましては、税負担による生活防衛意識の高まりに加え、年明け以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響から、依然として厳しい事業環境にあります。当社グループにおきましては、引き続き基幹事業における収益の安定化に向け、MD(マーチャンダイジング)精度の向上、商品供給の最適化を進めるとともに、新規出店を抑制しつつも、EC事業(ネット通販)につきましても対応強化に注力し、全社グループをあげて次代を見据えた収益基盤の構築に努めてまいります。

今後も当社グループにおきましては、引き続き企業の社会的使命を重視するとともに、企業統治並びにコンプライアンス体制の強化など、企業の質的向上にも努めてまいります。

なお、当期の期末配当金につきましては予定通り1株につき6円とし、当期の年間配当金については、中間配当金と合わせた1株当たり12円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後におきましても当社グループの事業戦略に、より一層のご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

Q1 当連結会計年度の業績についてお聞かせください

当連結会計年度の業績は、売上高240億84百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益5億4百万円(前年同期比27.9%減)、経常利益4億94百万円(前年同期比30.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、3億50百万円(前年同期比36.7%減)となりました。

当連結会計年度のアパレル事業におきましては、春から夏にかけて長雨や日照不足などの影響を一時的に受けつつも、トレンド商品や実需商品の販売が堅調となりました。その後は大型台風による被害拡大や消費税増税の影響に加え、記録的な暖冬により秋冬のプロパー商品を中心に販売が苦戦する結果となりました。雑貨事業におきましては、300円均一ショップ「illusie300(イルーシーサンマルマル)」が好調に推移した一方で、バラエティ雑貨業態、バッグ業態が年間を通して苦戦したことにより、全社の既存店売上高前年同期比は97.0%にとどまりました。

利益面におきましては、アパレル事業のラージサイズ業態、雑貨事業のバラエティ雑貨業態の業績が低調に推移し、商品回転率が悪化したことにより、売上総利益率は前年を若干下回る結果となりました。経費面においては上半期に引き続き、人件費が増加したほか新規出

店の拡大に伴うイニシャルコストの増加に加え、既存店売上高前年同期比が低調に推移したことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益におきましても減益となりました。

店舗の出退店におきましては、アパレル事業では「Ludic Park(ルディックパーク)」、雑貨事業では「illusie300」の新規ブランドを中心に新規で44店舗を出店する一方で、急激な商環境の悪化で不採算となった店舗や、契約満了となった店舗など、合計35店舗を閉店した結果、当連結会計年度末現在の店舗数は487店舗となりました。

当社グループは、この3か年の「中期経営計画」におきまして、アパレル事業の既存店舗の業績が堅調に推移したほか、雑貨事業における新規ブランドの出店拡大が計画以上に進んだことから、当連結会計年度の売上高は前年同期比3.5%増となり、2期連続の増収となりましたが、営業経費の増加等により減益基調が続いております。また、国内消費が低調に推移する中、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、出店先の商業施設への来館客数が大幅減少という厳しい環境下にあります。こうした状況を踏まえ、当社グループにおきましては、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を適切に見極めながら新規出店は一旦抑制し、新型コロナウイルス感染症拡大が終息した後の再成長に備えるべく、経営効率の更なる改善、基幹事業の競争力強化に注力してまいります。

Q2 中期経営計画の進捗についてお聞かせください

中期経営計画の2年目にあたる当期は、前期に引き続き「基幹事業の競争力向上」、「成長エンジンの創出」、「安定成長に向けた人財戦略」の3つの基本テーマに沿った主要施策に、スピード感をもって取り組んでまいりました。

「基幹事業の競争力向上」につきましては、アパレル事業のレギュラーサイズ業態で取り組んでいるトレンド商品と実需商品の品揃えの最適化を進めるとともに、気温、気候の変動に合わせたQR(クイックレスポンス)生産による機動的な品揃えの実現に注力し、収益の安定化を図ってまいりました。一方、ラージサイズ業態では、課題となっているシーズンMDの最適化を図るべく、品種別、アイテム別のバランスを意識した品揃えの最適化を進めるとともに、リアル店舗とEC事業(ネット通販)の相互送客を更に強化するなど、マーケットシェアの拡大に努めております。また、雑貨事業におきましては、バラエティ雑貨、バッグ業態の抜本的なMD改革を進める一方で、好調な「illusie300(イルーシーサンマルマル)」については、引き続き出店拡大に努めております。今後は商品企画、店舗オペレーションの精度向上に注力し、同業他社との競争力を高めてまいります。

「成長エンジンの創出」につきましては、3か年における店舗数純増の目標を60店舗として進めておりますが、この2か年での純増は18店舗にとどまっております。今後も新規出店のみならず、商業施設のリニューアルに合わせ、アパレル事業の「Ludic Park(ルディックパー

ク)」、雑貨事業の「illusie300」を中心に出店し、更なる収益拡大に努めてまいります。また、EC事業(ネット通販)におきましては、自社サイトをはじめ本格的な投資と人人体制の拡充により、売上高、客数は順調に増加しておりますので、今後は増益に向け販売効率を高めていく施策に重点を置いて取り組んでまいります。

「安定成長に向けた人財戦略」につきましては、課題であった店舗の欠員対策として、販売スタッフの募集強化並びに新卒採用の拡大により、徐々に解消が進んでおります。今後は営業力の強化に向け、教育の充実を図るとともに、新たな事業への挑戦、本部スタッフの拡充を含め、幹部候補の中途採用も継続し、次世代リーダーの育成にも注力してまいります。中期経営計画の最終年度にあたる今期は、引き続き3つの基本テーマに則りスピード感をもって進めてまいりますが、新型コロナウイルスの影響等による国内外の景気減速感を踏まえまると、現時点では当初公表した中期経営計画における最終年度の数値目標達成は難しいと判断しております。

したがって、今期の業績予想につきましては、直近の新型コロナウイルス感染症の影響拡大を鑑み、本年3月31日に公表しました業績予想及び配当予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルス感染症に伴う影響が明らかになりましたら、今期の業績予想及び配当予想について改めて公表いたします。

また、今後は今般の新型コロナウイルス感染症が終息し、経済、消費環境等が回復傾向となった際には、改めて当社グループの永続的な安定成長を前提とした次期中期経営計画を速やかに策定し、次代を見据えた新たな収益基盤の構築を進めてまいります。

アパレル事業におきましては、収益拡大と主力ブランド化への成長を目的に、新規ブランドによる出店拡大に注力しており、主力3ブランドの店舗数はブランド転換を含め、前期41店舗から51店舗に増加しております。

当期におきましては、幅広い立地、客層に向けた主力ブランド「Ludic Park(ルディックパーク)」9店舗、既存ブランド「RecHerie(リシェリエ)」1店舗、ラージサイズ「Re-J(リジェイ)」「SUPURE(スプル)」の単独店をそれぞれ1店舗出店しております。

ルディックパーク



Ludic Park

遊び心を程よく取り入れた自分らしいファッションを、楽しくセレクトできるショップです。エレガンス・クール・カジュアルまで幅広い客層へ向けた最新トレンドと、着まわしのきくベーシックアイテムをお手頃プライスで提案します。

リルデシュシュ



Lilou de chouchou

いつまでもかわいく輝いていたい女性に向けて、毎日のHAPPYを演出します。エレガンスをベースに程よくトレンドを織り交ぜながらON&OFFあらゆるシーンも自分らしく楽しめる上品で女性らしいファッションを提案します。

デイジーマリー



DAISY MERRY

大人の心と少女の心を持ち合わせたいくつになってもかわいくオシャレでいたい女性に向けて…かわいだけでなく、どこかボーイッシュ、ほんのりガーリーと、遊び心を取り入れた今欲しいリアルクローズを手頃なプライスで提案します。

ギャルフィット



GAL FIT

「フェミニン&クール」をテーマに、リラックス感のあるカジュアルスタイルとエッジの効いたモードスタイルを提案します。

スズタン



SUZUTAN

「エレガンス&フェミニン」をテーマに、幅広い客層へ最新トレンドと着まわしのきくベーシックアイテムを提案します。

リシェリエ



Recherie

「フェミニン」をキーワードに、ベーシックでリラックス感のある大人のカジュアルスタイルを提案します。

リジェイ・スプル



Re-J

「デイリー&リラックス」をテーマに、ベーシックアイテムとシーズントレンドを程よくMIXした“大人カジュアル”を提案するラージサイズSHOPです。

SUPURE

「フェミニン&カジュアル」をテーマに、上品さと着心地を大切にラージサイズSHOPです。

雑貨事業におきましては、引き続き300円均一ショップ「illusie300(イルーシーサンマルマル)」の出店が進行しており、店舗数は前期57店舗から84店舗に増加しております。

当期におきましては、「illusie300」24店舗、「木糸土(モクシド)・Hare no hi(ハレノヒ)」6店舗、バッグ専門店の「INCENSE(インセン

シーベレット



Siebelet

「毎日、楽しく」をテーマに、話題性あるファッション雑貨と生活雑貨を提案します。

インセンス



INCENSE

「MY BAGを探す楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」。自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

ンセンス)」1店舗、バラエティ雑貨「Siebelet(シーベレット)」1店舗を出店しております。基幹事業へと成長を遂げた「illusie300」については、今後の更なる収益拡大に向け、商品企画力の充実と店舗数増に伴う販売スタッフレベルの向上に努め、同業他社との競争力強化に向けた教育の充実も図ってまいります。

イルーシー300



illusie300

「日常に彩り」をテーマに、300円のプチプライスでライフスタイルを提案します。

木糸土・ハレノヒ



木糸土

木・糸・土の素材を活かし、「無理なく、無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。

Hare no hi

「ナチュラルライフ」をテーマに、アパレル、雑貨をトータルにコーディネート、ライフスタイルを提案します。

アパレル事業ブランド別の状況

(単位:店舗)

	出店	退店	ブランド転換	当期末店舗数
レギュラー店舗	10	13	0	265
ルディックパーク、9スクエア	9	0	1	39
リルデシュシュ	0	0	0	9
デイジーマリー	0	0	0	4
リシェリエ、ドスチ	1	3	1	37
ギャルフィット・スズタン他	0	10	△2	176
ラージサイズ店舗	2	4	△1	36
アパレル事業合計	12	17	△1	301

雑貨事業ブランド別の状況

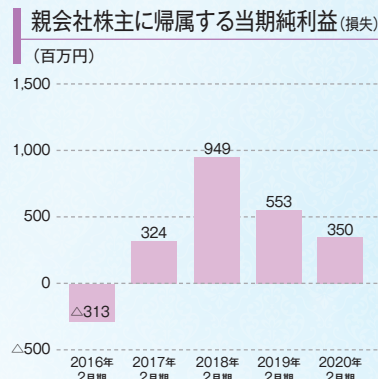
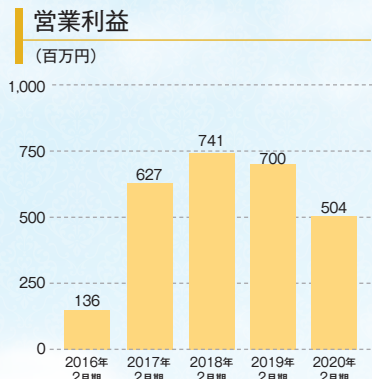
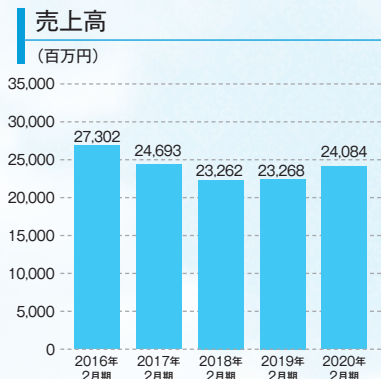
(単位:店舗)

	出店	退店	ブランド転換	当期末店舗数
イルーシー300	24	1	4	84
シーベレット	1	11	△2	42
インセンス	1	4	0	29
木糸土・ハレノヒ	6	0	△2	18
雑貨事業合計	32	16	0	173
複合店(※)	0	2	1	13
全社合計	44	35	0	487

(※) 複合店とは、アパレル事業、雑貨事業のブランドを複数合わせた店舗です。

連結貸借対照表 (単位:百万円)		
	当連結会計年度 (2020年2月20日現在)	前連結会計年度 (2019年2月20日現在)
■資産の部		
流動資産	5,525	5,496
固定資産	6,151	5,831
有形固定資産	1,486	1,140
無形固定資産	146	33
投資その他の資産	4,518	4,656
資産合計	11,677	11,328
■負債の部		
流動負債	5,117	5,921
固定負債	2,784	1,884
負債合計	7,902	7,805
■純資産の部		
株主資本	3,749	3,506
資本金	100	100
資本剰余金	1,979	1,979
利益剰余金	1,673	1,430
自己株式	△3	△3
新株予約権	26	15
純資産合計	3,775	3,522
負債及び純資産合計	11,677	11,328

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)		
	当連結会計年度 〔2019年2月21日から 2020年2月20日まで〕	前連結会計年度 〔2018年2月21日から 2019年2月20日まで〕
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	619	901
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△808	△847
⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△118	197
現金及び現金同等物の増減額	△306	251
現金及び現金同等物の期首残高	2,550	2,222
現金及び現金同等物の期末残高	2,244	2,473



注:2018年2月期第2四半期までは、画/パレモの数値を記載しております。

連結損益計算書 (単位:百万円)		
	当連結会計年度 〔2019年2月21日から 2020年2月20日まで〕	前連結会計年度 〔2018年2月21日から 2019年2月20日まで〕
① 売上高	24,084	23,268
売上原価	10,714	10,308
売上総利益	13,370	12,960
販売費及び一般管理費	12,865	12,259
② 営業利益	504	700
営業外収益	17	26
営業外費用	27	14
経常利益	494	712
特別利益	1	0
特別損失	112	113
税金等調整前当期純利益	383	599
法人税、住民税及び事業税	24	34
法人税等調整額	9	11
親会社株主に帰属する当期純利益	350	553

POINT

- 売上高は前連結会計年度に比べ8億16百万円増加の240億84百万円となり、2期連続の増収となりました。これは主に、既存店売上高前年同期比は天候不順や災害に加え、消費税増税の影響等により販売が伸び悩み97.0%と苦戦したものの、新規に出店を44店舗、退店35店舗により9店舗の純増が貢献したことにによるものです。
- 営業利益は前連結会計年度に比べ1億96百万円減少の5億4百万円となりました。これは主に、売上総利益の伸びに比べ人材確保に伴う人件費の増加並びに新規出店の拡大等による営業費の増加が上回ったことによるものです。
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ2億82百万円減少の6億19百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益3億83百万円、減価償却費2億31百万円の計上等による資金の増加があった一方で、たな卸資産の増加額2億16百万円や、法人税等の支払額61百万円などによる資金の減少があったことによるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、支出が39百万円減少し8億8百万円の支出となりました。これは主に、新設、既存店舗の改装など有形固定資産の取得による支出5億69百万円や差入保証金の支出2億23百万円による資金の減少があったことによるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、1億18百万円の支出(前連結会計年度は1億97百万円の収入)となりました。これは主に、配当金の支払額1億43百万円などによる資金の減少があったことによるものです。

会社概要 (2020年2月20日現在)

社名 パレモ・ホールディングス株式会社
設立 1984年11月22日
資本金 1億円
本社所在地 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅五丁目27番13号 名駅錦橋ビル6F
従業員数 2,629名(グループ含む)
(ナショナル社員159名、エリア社員他2,470名)
事業内容 事業子会社の経営管理等
ホームページ <http://www.palemo.co.jp/>

役員 (2020年5月14日現在)

代表取締役社長 吉田 馨
専務取締役 永井 隆司
取締役 福井 正弘
取締役 竹中 幹雄
取締役 永田 昭夫
取締役 赤塚 憲昭
常勤監査役 土田 新一郎
監査役 平岡 繁
監査役 今枝 剛
監査役 川口 直也

注：取締役のうち、永田 昭夫、赤塚 憲昭の両氏は社外取締役であります。
監査役のうち、今枝 剛、川口 直也の両氏は社外監査役であります。

株式情報 (2020年2月20日現在)

発行可能株式総数	27,360,000株
発行済株式の総数	12,051,384株
単元株式数	100株
株主数	10,389名

大株主 (2020年2月20日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
エンデバー・ユナイテッド・パートナーズ・スリー投資事業組合	4,578	37.99
個人株主A	1,161	9.63
個人株主B	357	2.96
SMBC日興証券株式会社	235	1.94
パレモ従業員持株会	204	1.70
株式会社三菱UFJ銀行	130	1.07
個人株主C	127	1.06
個人株主D	75	0.62
個人株主E	61	0.51
岩間商事株式会社	58	0.48

株主構成 (2020年2月20日現在)

